



JIS 安全靴 (SX3層底) JIS Safety Low Shoes

JIS規格 合格

- JIS T 8101革製S種<普通作業用>E合格
- 足にフィットする牛革使用
- ワイドACM樹脂先芯

3層底

- 靴底面は、耐熱性 (130℃) 耐油・薬品 (酸・アルカリ) に優れています。
- 凹凸物や平滑床面に対するグリップ力と優れた衝撃吸収性



<SX3層底を搭載>

- 独立懸架方式が、あらゆる形態の床面に対して抜群のグリップ力を発揮。
- 異なる素材の組み合わせにより、心地良いクッション性と軽量化を実現。
- アウトソールにSXラバーを採用し、熱や摩耗に強い。

表底に発泡ポリウレタンを使用した、安全靴・作業靴につきましては、
ポリウレタンの特性上、次の事項にご注意ください。

注意 この表示は誤った取扱をすると「障害を負う可能性」が想定されます。

- 加水分解について
表底にポリウレタンを使用した製品は、長期保管すると、使用頻度に関わらず加水分解という経年劣化が生じ、靴底が破損する場合があります。
※加水分解とは、ポリウレタンに水分子が加わることで、徐々に強度が落ちていく現象です。
取り扱いや保管方法にお気遣いいただくことで、劣化を遅らせることが出来ます。
①長期間の保管は避け、できるだけ速やかに着用ください。
②直射日光や高温多湿の場所を避け、風通しの良い場所で保管してください。
③水に濡れた場合は必ずふき取り、風通しの良い日陰で自然乾燥してください。
- 底割れについて
金属切削くず等の鋭利なものを踏むと、切り傷ができ、底割れの原因となります。
- 熱現場での使用について
通常温度以上の熱場、または熱体に直接触れるような作業環境 (炉前作業、鑄造作業、熱処理作業、溶接作業等) では使用しないで下さい。靴底の一部が溶解することがあります。
- 水、薬品の付着について
靴に水や薬品が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。はがれや破損、劣化などを生ずることがあります。特に酸・アルカリ等の薬品やシンナー等の溶剤、水を多量に使用する作業環境では、ご注意ください。
- 湿気による経年変化を防止するため、靴が濡れた場合は、高温多湿、直射日光を避け風通しの良い日陰で保管してください。

JIS T 8101安全靴の性能(抜粋)

種類		重作業	普通作業用	軽作業用	
記号		H	S	L	
つま先部	耐圧迫性	圧迫荷重	15±0.1kN	10±0.1kN	4.5±0.04kN
	耐衝撃性	衝撃エネルギー	100±2J	70±1.4J	30±0.6J
		落下高さ	51cm	36cm	15cm
		ストライカ質量	20±0.2kg		
		中底と先芯のすきま	※「試験時の中底と先芯のすきま」を参照ください		
表底の剥離抵抗		300N以上		250N以上	

試験時の中底と先芯のすきま

サイズ	すきま(mm)
23.0以下	12.5以上
23.5~24.5	13.0以上
25~25.5	13.5以上
26~27	14.0以上
27.5~28.5	14.5以上
29以上	15.0以上

● 安全靴の使用について(関係法令)

安全靴の着用については、労働安全衛生規則第558条によって
「事業者は、作業中の労働者に、通路等の構造又は該当作業の状態に応じて、安全靴その他の適当な履物を定め、当該履物を使用させなければならない。」と定められています。

● JIS規格について

安全靴は「つま先を保護し、滑り止めを備える靴」と日本工業規格(JIS)で定義されています。
足部保護具は「安全靴(JIS T 8101)」と静電気が原因となる災害を防ぐ靴として「静電気帯電防止靴(JIS T 8103)」の2種類があります。

MADE IN JAPAN

総発売元 **トラスコ中山株式会社** E-mail: techno.center@trusco.co.jp
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号 お客様相談室 ☎ 0120-509-849
製造元 株式会社 シモン <http://www.orange-book.com/>